

---

# 青春バトル!

ダイオ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

青春バトル！

### 【Nコード】

N3970G

### 【作者名】

ダイオ

### 【あらすじ】

運の無い無野太郎は突如現れた数学教師成田光年の一言で「青春バトル」開催を宣言し、それに参加する。生徒達はバトルの事を何も知らずに……

## 0 - 1 決心（前書き）

あらすじは、この小説の中心部分のみを表しています。  
最初は太郎のある出来事から始まります。

## 0 - 1 決心

「キモ！」

その言葉を言われたとたん、絶望に満ち溢れた・・・

この出来事の始まりは約2年ほど前だろうか。

無野太郎は、小学生2年生の時から思いを寄せていた少女がいた。有田ゆきだ。ケースに入れて置きたいぐらいの小さな体に、円らな瞳。

太郎はゆきに話しかけたいと思っていた。

しかし、弱気で消極的な太郎はまともに話すことが出来ない。でもその時は”いつか”思いを伝えて、付き合いたいと思っていた。

小学5年生の時にはこんな事があった。

クラスの皆とドッチボールをしていた。

もちろん、太郎は苦手なもんだから、逃げてばかりいた。

休み時間終了を知らせるチャイムが鳴ったとき、ゆきは太郎を目掛けてボールを投げる。

太郎は気を緩めたのか、アゴにボールが当たった。

ゆきに当てられても、太郎は自分が弱いから気にはいかなかった。しかし、ゆきは心配であった。謝らなければと思っていた。

教室に戻ってからゆきは素直に、

「ごめんね。痛くない？大丈夫？」と心配して問いかける。太郎は、

「うん。大丈夫。」と普通に答える。

しかしその後も何度も何度も心配して謝る。

太郎は、心配する彼女を見てすごく可愛く感じられた。

優しく接してもらっているのが嬉しくてたまらなかった。

時は経ち、小学6年生。

太郎とゆきはクラスが離れてしまった。

だが、少ししか太郎は悲しまなかった。

今までに何回かクラスが離れたことがあるからだ。

しばらくはゆきと関わりはなかった・・・

そしてその事件の始まりが訪れる。

何を思ったのか、太郎はチャットを始めた。

何の理由もなしに。

しかし、チャットを始めた時に、ある人にこんな事を聞いてみたくなかった。

「好きな人に思いを伝えたい。どうしたらいいのか。」と。

早速、太郎はある人に聞いてみた。すると相手は、すぐに

「手紙がいいんじゃない？携帯持ってなかったら。」

太郎は手紙という方法を選び思いを伝える事を決心する・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3970g/>

---

青春バトル!

2011年1月18日03時24分発行